

## ■策定要領項目における必要的記載事項

社会的養護施策策定の際の措置児童等に対するヒアリングやアンケートの実施体制の整備

### ①グループインタビューの実施

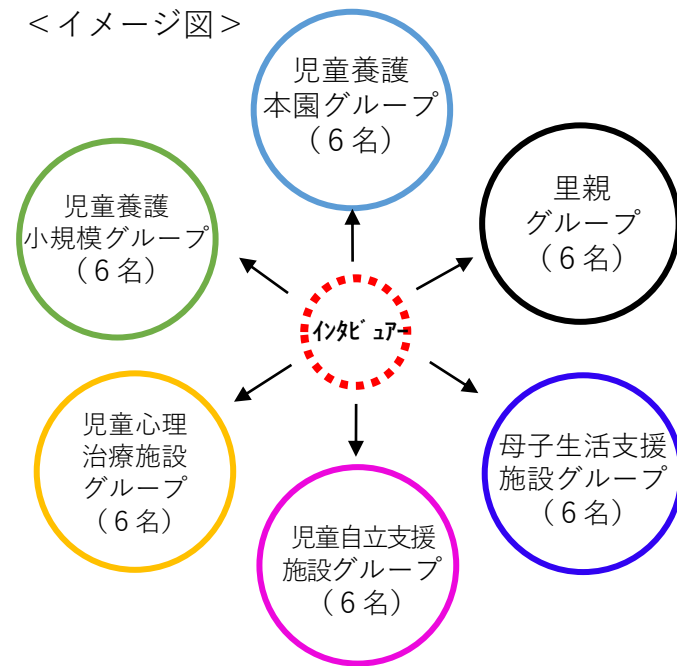
<目的>

行政や支援者では気づきにくい、当事者だから感じる社会的養護の課題や改善点を抽出

<方法>

- ・当事者である子どもの属性を整理し、6名程度のグループを6つ設定  
内訳) 児童養護施設(大舎・小舎)、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、里親  
⇒中高生年齢で、概ね男女が同数になるようグループを設定
- ・対象者に対し、インタビュアー1名が調査項目に関する質問をし、対象者に自由に発言を求める(2～3h程度/回)
- ・グループインタビューの実施は1回
- ・グループインタビュー後、意見の表明漏れを防ぐとともに、個人の意見を掘り下げるため、グループインタビュー時で発言できなかった内容等について、対象者全員に対しアンケートを実施

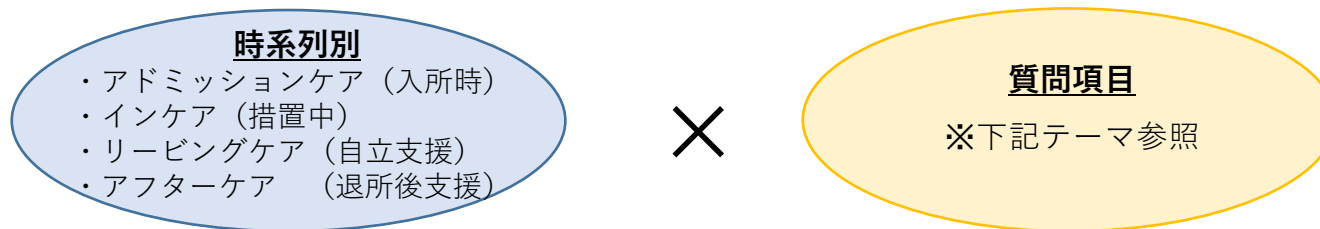
<イメージ図>



➔対象児童が所属する各施設に対し、児童の参加意向の確認等調整のうえ、対象者を決定

# 当事者である子どもの意見反映の仕組み

## ■インタビューの内容について



## ■基本質問項目について

時 系 列	基本質問項目	具体的イメージ
	施設内の人間関係について	職員、子ども同士などとの関係
	施設外の人間関係について	教員、同級生などとの関係
	施設内の環境について	・衣食住について ・スマートフォンやパソコン等の私物の所持について など
	学校生活について	・学校は楽しいか ・友人と遊ぶことができているか ・学校で困ったことがあれば施設が助けてくれるか ・バイトや部活について ・進学や就職の悩み など
	家族との関係について	・実親や兄弟などの家族とのかかわりについて ・面会や交流の有無 など
	社会とのかかわりについて	・地域と交流があるか など
	退所後について	・退所後も施設職員に会いたいと思うか ・退所後の不安 など

※里親委託児童及び児童自立支援施設入所児童に対しては、質問項目は別途調整

## ②退所児童へのアンケート調査の実施

### <目的>

社会的養護経験者の現在の状況や、施設等での生活時に感じていたことなどの自立支援に関する実態を把握するため、アンケート調査を毎年度実施することにより、社会的養護経験者の状況を把握。

### <方法>

- ・当事者である退所児童に対して、自立支援拠点事業所を活用してアンケート調査を実施
- ・対象者には属性及び質問項目を記載したアンケート用紙を配布

### <質問項目>

- ・施設、里親宅を出た後に困ったことについて（進学のこと、就職のこと、住居のこと ...等）
- ・困ったときに相談した場所について（家族、友人、施設・里親 ...等）
- ・施設、里親宅を出た後に必要だと思うサポートについて
- ・子どもが意見を言いやすい環境づくりについて

※ほか、インケア中の児童に対するアンケートについても、実施を検討

### 【実施スケジュール】

